



神戸市長 久元喜造

## 神戸市

神戸の港は、もともと「扇港」とも呼ばれていました。また、「兵庫」と「神戸」のふたつの港が扇を並べたような形をしているという理由で、神戸の旧かな遣いである「カウベ」の力の字を図案化したものです。1907年（明治40年）5月に制定。

### 【データ】

※平成30年10月1日現在

- 人口：1,527,407人
- 世帯数：718,247世帯
- 面積：557.02km<sup>2</sup>
- 市の花・木：あじさい・さざんか
- 特産物：KOBEビーフ・洋菓子
- イベント：神戸まつり ほか

神戸市は日本有数の大都市地域ですが、豊かな山麓、田園地帯が多く残されています。六甲山系によって南北に二分され、大阪湾に面する南部は東西に細長く、高密度な都市機能が集積され、一方、北・西部では大規模なニュータウンが開発されています。

古くから港を中心に発展し、奈良・平安時代には、すでに、諸外国との貿易拠点として栄えてきました。その後、江戸時代の鎖国政策により外国貿易は途絶えましたが、1868年（慶応3年）の兵庫港開港以降は、神戸港の築港などの都市基盤の整備を進める一方、造船や紡績業、製鉄などの近代産業が興隆してきました。

また、外国人居留地などを通し、スポーツ、文化などの異国情緒あふれるハイカラ文化が育ち、国際的な人・もの・情報が行き交う国際港湾都市として発展してきました。

神戸市は、鉄鋼・造船・食料品等、ミナトの機能と結びついた産業を中心に発展し、近年では、ファッション、観光、コンベンション、医療関連産業の振興にも力を入れています。



### ●神戸市における特徴的な施策

#### 1. 「神戸医療産業都市」の推進

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸の経済を立て直すため、震災復興事業として「神戸医療産業都市構想」を始めました。人工島ポートアイランドに、先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官の連携により医療関連産業の集積を図る都市政策・経済活性化プロジェクトです。

現在、人工島ポートアイランドに「先端医療研究センター」「理化学研究所 生命機能科学研究センター」「スーパーコンピュータ『京』」などの研究機関や施設、神戸市の基幹病院である「神戸市立医療センター中央市民病院」のほか「神戸低侵襲がん医療センター」「兵庫県立こども病院」「神戸市立神戸アイセンター病院」など、高度専門病院群の集積が進んでいます。

これら先端的な研究機関や、多数の企業・団体の相互連携により、医薬品、再生医療、医療機器などの臨床応用・実用化を図っており、350社を超える医療関連企業・団体が集積するわが国最大級のバイオメディカルクラスターに成長しました。

また、研究成果を市民の健康・福祉分野につなげるため、市民参画による運動や栄養などに関する実証事業を通じて、生活習慣病予防や介護予防に向けた科学的な健康づくり支援に取り組んできました。現在は、疾患を発症前に高い確率で診断・予測し、適切な対処を行う「先制医療」の実現に向けた取り組みとして、「日常的な健康度を指標とした都市コホート研究：神戸トライアル」に対

する支援や、休養、栄養、運動などの市民の生活に近いヘルスケア分野において、企業・研究者・市民の参画により、科学的根拠に基づく効果や実用性に裏打ちされた製品・サービスの研究開発および実用化をめざす取り組みを行っています。

## 2. WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）運営支援

WHO ジュネーブ本部直轄のグローバル・リサーチ・センターとして、社会、経済、環境の変化が健康へ及ぼす影響について、また、それらの変化に対応する保健政策に関する研究を行っている同センターに対し、国際社会への貢献などの観点から支援をしています。（平成7年～）

## 3. 健康創造都市 KOBE の推進

### ◎「健康創造都市 KOBE 推進会議」の設立

神戸に思いを持つ企業や団体等と市民が中心となり、WHO神戸センターや神戸医療産業都市との連携の成果を踏まえながら、誰もが健康になれるまち「健康創造都市 KOBE」をめざし、議論、提案を行い、実践につなげていくため「健康創造都市 KOBE 推進会議」を29年7月に設立。健康寿命の延伸、健康格差の縮小、個人の健康づくり活動と企業の健康経営を通じた市内経済の活性化の取り組みを進めています。

### ◎健康アプリ「MY CONDITION KOBE」

健康のこと、気になるなら、はじめよう。



MY CONDITION KOBE

MY CONDITION KOBEとは、神戸市が市民の皆さんを対象に運営する健康サービス。あなたが受けた健康診断の結果などの健康情報、歩数や食事などの生活情報をデータベース化。

さあ、MY CONDITION KOBEで、一緒に健康管理をはじめませんか？

※ご利用にはスマートフォンが必要です。



1. じぶんの健康状態がわかる



2. 健康情報をひとつのアプリにまとめられる



3. まとめた健康状態にあわせてアドバイス



4. ポイントや特典で楽しみながら健康に

利用者登録はこちらから! >>

MY CONDITION KOBE

検索



【担当】神戸市医療・新産業本部医療産業都市部調査課 小寺・宮本

TEL:078-322-6374 FAX:078-322-6010